

## ご挨拶

七尾市立朝日中学校 校長 井田 正輝

平成28年度は、1年生57名、2年生51名、3年生57名の全校生徒165名（男子77名・女子88名）、全教職員26名で、スタートしました。

昭和36年、徳田・高階両中学校の発展的統合が実現し『新生朝日中学校』が発足して56年目となります。当時は想像を絶する障害を克服して一步一步今日の礎が形作られたと聞いております。本校に脈々と受け継がれてきた『決意を実践に移せ そして栄光を信ぜよ』の校訓に込められた先人の苦闘と熱い願いが伝わってきます。

朝日中学校も残すところあと1年です。『主体的に考え表現する生徒の育成』こそ、子どもたちが将来において「逞しく生きていく糧」となるための教育活動であることを確信しつつ、保護者・教職員一丸となって『朝日中学校の有終の美』を飾るとともに、『新生七尾中学校への新たな継承』につなげたいと考えております。ぜひ本校の教育活動へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いします

今年度の朝日中学校の学校経営目標を次のように設定し、取り組んでいきます。

### <教育目標>

「夢をもち、感性豊かに、たくましく生きる生徒の育成をめざす。」

- ・『夢をもち』からは、「将来に向けた目標実現」のために、「勉強ができるようになりたい」「部活動で活躍したい」「希望する高校へ進学したい」などの具体的な希望や願いを、生徒一人一人が実践する姿と捉える。
- ・『感性豊かに』からは、自然や人などの、優しさ、厳しさ、喜び、悲しみ、怒りなどを素直に感じ受け入れ、その場に応じた言動ができる心を持つことと捉える。
- ・『たくましく生きる』からは、できた喜びや達成感を友達と共有し、自己と向き合いながら、自問自答の中でより良い方向性を見出して生活することと捉える。
- ・『生徒の育成をめざす』からは、生徒が本来持っている向上心を信じ、生徒自らが成長する可能性を引き出すことと捉える。

### <めざす生徒像>

- (1) 進んで学ぶ生徒（目標を持って、勉強や部活動に取り組む生徒）
- (2) ともに伸びる生徒（お互いに学び合い、思いやりのある心を持つ生徒）
- (3) 自ら鍛える生徒（心身ともにたくましい体力を持ち、健康である生徒）
- (4) ボランティア活動をめざす生徒（感謝の心を持ち、奉仕活動を行動に移せる生徒）
- (5) 生き方を育む生徒（将来の自己の生き方を考え、自分の進路をめざす生徒）

### <めざす教師像>

- (1) 指導力：教育のプロとして生徒の心をしっかり受けとめ、生徒と共に伸びる教師
- (2) 教育公務員：教師としての自覚と強い情熱・使命感・向上心を持ち続ける教師
- (3) 信頼：生徒・保護者・地域から安心して任せてもらえる教師

### <めざす学校像>

- (1) [生徒にとって] 毎日がワクワクして楽しいと思える学校
- (2) [保護者にとって] 安心して通わせることができる学校
- (3) [地域にとって] 協力して良かったと思われる学校
- (4) [教職員にとって] 充実感が持てる学校
- (5) 安全で落ち着いた環境の学校

### <中・長期的目標>

「夢を求め、知・徳・体の調和が取れた人間性豊かな生徒の育成」

- (1) 【夢】 将来の夢を語り、それに向けて努力する生徒の育成

- (2) 【知】 学力向上をめざし、自ら学ぶ意欲を持つ生徒の育成
- (3) 【徳】 規範意識を持ち、人を思いやることができる心豊かな生徒の育成
- (4) 【体】 生命の尊重や安全意識を持ち、健康で逞しく、忍耐力のある生徒の育成

### <学校づくり構想>

#### ◆指導目標「生徒の自主自律をめざす」

##### (1) 【夢：目標設定】

- ①小中高を通したキャリア教育の充実
- ②自己実現のための将来設計や進路選択能力の育成
- ③地域と連携した「職業講話」「職業体験活動」「ボランティア活動」の充実
- ④「高校体験入学」や進路に関するきめ細かな情報提供
- ⑤ふるさとに誇りを持ち、地域を大切に作る心の育成
- ⑥母校の最後をしっかりと締めくくり、新たな学校への希望を持たせる

##### (2) 【知：学力向上】

- ①見通しを持って思考し、学び合い、振り返りで次時につなげる学習スタイルの確立
- ②何を教え、何を考えさせるかを明確にした授業作りの工夫と改善
- ③人間関係づくりを意識したペア・グループ活動の工夫と導入
- ④声の大きさを意識した表現活動の指導法の工夫
- ⑤家庭学習や学習習慣の定着、提出物等の徹底
- ⑥個々の生徒の習熟度を把握し、個に応じた指導の実施
- ⑦学力・学習状況調査の分析結果に基づく対策の構築と適切な補充の実施
- ⑧視聴覚機器の活用を通じて、生徒の興味・関心・理解の向上を図る（ICTの活用）
- ⑨道徳の授業づくりについて理解を深め、「人と地域を生かす道徳教育」を推進する

##### (3) 【徳：心の成長】

- ①生徒をほめる時はその活動をしっかりと認め、悪いことには毅然とその場で指導
- ②「自己決定」「自己有用感」「共感的人間関係」を作り出す場の意図的な設定
- ③道徳教育や人権教育を充実させ、命の大切さや思いやりのある豊かな心の育成
- ④支援を要する生徒の情報共有と、個に対応した特別支援教育の充実（不登校対応）
- ⑤朝読書・新聞読書を継続し、豊かな心の醸成
- ⑥明るく大きな声で挨拶や返事ができ、積極的に行動する生徒の育成
- ⑦生徒が主体的に取り組むボランティア・清掃活動の充実

##### (4) 【体：健康・安全・体力向上】

- ①生徒会活動・学級会活動等を通して、生徒自らによる基本的な生活習慣を定着
- ②部活動を通して、体力を鍛え、精神力を磨き、心身ともにたくましい生徒を育成
- ③ヘルメット、反射たすきの必着、交通規則や通学路・帰宅時間の厳守
- ④食育・保健指導による健康と体力向上についての意識付け

#### ◆経営目標「指導の連携と分担を意識する」

##### (5) 【学校力の強化】

- ①生徒の学力向上と教員の指導力向上を一体的に図るロードマップの作成
- ②若手を学校全体で育てるための校内OJTの工夫と充実
- ③学期ごとのPDCAサイクルにより、現状に応じた教育実践と経営改善を図る
- ④生徒理解のアンテナを高くし、生徒の声（悩み）を把握するための工夫
- ⑤「いじめ防止基本方針」を基に、いじめを見逃さない・許さない学校づくりの推進

##### (6) 【教師力の向上】

- ①教師間のコミュニケーションを大切にして、一人で抱え込まない
- ②学習スタイルを活用した課題解決型の授業力向上の意識化と週案の活用
- ③個々の目標設定と自己評価、評価結果のフィードバックによる自己研鑽
- ④教育者としての使命感を持ち、生徒や保護者の責任にせず、そこから学ぶ姿勢
- ⑤ワーク・ライフ・バランスを意識し、メリハリのある時間管理を心がける

##### (7) 【教育活動の充実】

- ①前例踏襲ではなく、その行事で身に付けるべき目的のための仕掛けの工夫
- ②生徒が自ら考え、行動できるための企画・運営能力育成の機会
- ③土曜授業の有効活用とそのための工夫・改善
- ④行事を終えた後の振り返りを通して、生徒の成長や変化をしっかりと評価する

##### (8) 【保護者・学校間・地域・関係機関との連携力の向上】

- ①民生児童委員、学校評議員、地域の先生等による学校教育活動への有効活用
- ②家庭や地域社会との連携による道徳科の指導充実
- ③閉校に向けての同窓会・地域・保護者との連携
- ④七尾中学校に向けての3中学校の積極的な連携推進

